H30.3.29

①球朋会平成30年度　年度幹事会(メール開催)　報告資料

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　球朋会幹事長　勝呂　進

Ⅰ．会員の皆様に**承認いただきたい事項**

１．会計・会費関係

　（１）**H29年度収支決算報告**　…詳細は別添｢**②**H29年度収支実績報告｣を参照ください。

　　・**会費収入**は219.6万円(予算227.4万円)と予算比若干減。**支出**は196.6万円(予算234万円)で、名簿整備など未実行があり。**次期繰越金**は288.8万円(前期末は265.8万円)になった。

　　・決算書類の監査は平成30年3月2日に松山会計監事により実施され、承認を得ています。

　　・会費納付率は男子7割、女子2割で従来の傾向通り。男子では昭和世代が8割以上に対し、平成世代は6割を切っている(特に11年～24年卒は4割以下です)。

(…資料｢**④**H29年会費納付状況｣参照ください。)

　　・会費収入の約60％に当たる130万円を学生支援金に充てている。20％40.8万円を総会開催費用の一部に使用。残り20％を球朋会運営・総会準備のための会議費、会費請求の督促費・手数料などに充てている。

　（２）**海外在住者の会費免除制度の廃止**

　　・海外在住者の会費免除を廃止し、現在在住の方も含め、平成30年の会費から納付の請求を行う。(現在、海外在住の登録者は9名)

　　　〈理由〉①会費収入の60％を学生支援に充てている。また上述のように球朋会の運営に20％を使用している。②会報・会員名簿の印刷、配布を中止し、Web化を進めており、HPの利用について海外、地方在住者の利便性に差がなくなった。③如水会カード、口座振替の納付方式を続けることにより、異動時の手続きがおおむね生じないと思われる。

（３）**H30年度収支予算（案）**…詳細は別添｢**③**H30年度収支予算｣ご参照ください。

　　・会費**収入**は209.7万円(H29年実績219.6万円)、**支出**209.7万円(同196.6万円)を見込む。

　　　H29年は前年度H28年の未納会費分38.1万円の納付があった。H30年はその分減少が見込まれるが、支出見込み額に対応するため、27.3万円の納付追加目標を計上した。納付促進は下記方策による。

　　・**学生に対する支援金**は従来通り、**130万円(**合宿、試合参加、各種登録等支援120万円、新入生勧誘費用補助10万円)とする。ただし会費収入の状況によっては来年以降、減額を検討する必要がある。

（参考）学生の総支出額は4,056,567円を見込んでおり、その約30％強を球朋会が支援する。合宿、試合参加等で約367万円、新入生勧誘費用で約38万円となっている。

主な内訳：　合宿費(春は国立、秋は白子)107.6万円、春秋リーグ戦費用(白子)81.9、三商大(今年は神戸大)45.6、東日本インカレ参加費14.7、全国国公立参加費47.2、学連・大会等の登録費34.0など。

　　・H29年から**球朋誌・会員名簿**の紙ベースの発行はやめWeb化したので、費目を｢球朋発行費｣から｢HP維持更新費｣｢名簿作成外注費｣に変更して、計上。従来の製作費は削減されるが、サーバーの維持費5万円、名簿作成データ入力等の外注費10万円を見込む。

　（補足）**会費納付の促進**について

　　　　H28年から納付方式を如水会カード、銀行口座振替主体の方法に変更し、H29年は如水会カードおよび口座振替への切替を促進し、増加を図るとともに、前年度(H28年)未納者に対**す**る督促を行った。なおH30年はH28、29年の未納者に対する督促も行う。

　　　　また、若手男子OBおよび女子会員の納付率が低いので、杉浦(文)常任幹事と現役学生と共同で納付督促を働きかけていく。女子会員には現役学生の訪問を実施した。

２．**H29年度活動報告およびH30年度活動計画**

（１）H29年度　活動報告

　　１）球朋総会はH29.11.23(木・祝)に、如水会館において開催。

　　　・準備は常任幹事および5年ごとの会から5名・学生の計10名で4回の準備・反省会議を

行った。

　　　・当日は女性OG6名を含む出席者60人、7社から寄贈品が多数あった。（…寄贈品提供リストは｢**⑤**球朋総会寄贈品(H29.11)｣ご参照ください）

　　　・球朋総会の詳細はHPで、2018巻頭言の鈴木副会長の報告および写真をご参照ください。

　　２）また球朋会の活動全般についても球朋会HPをご参照ください。

（２）H30年度　活動計画

　　　１）**会費納付関係**…上述のとおり会費納入を促進する。

２）**今年度の総会の計画**について（主担当：鈴木副会長)

（a）**運営メンバーの選任**：昨年と同様、執行部5名と5年ごとの会5名の幹事としたい。

　　　　　　　遊球会(S46－50）、S5６会、H03会、H13会、H28会から各1名

　　　　　　　準備委員会5、7、9月、反省会12月。

　　　 （b）**H30年度の開催日程(案)**：　平成30年11月23日(金・祝日)昼間、如水会館にて。

　　　３）**「5年ごとグループ」の結成**促進(継続)…下記Ⅱの2項による。

Ⅱ．**報告事項**

１．HPの進捗状況について(担当常任幹事：金井、直居、中寺)

　（１）**球朋会HP全般**

　　１）新しい寄稿を順次アップしている。2月末までに顧問の尾崎正峰先生、会長、副会長、

幹事長および卒業学生などの新規寄稿がおおむねそろった。

会員各位にはHPをご覧いただきたい。

**２）S40年卒以前でパソコンを利用せず、HPをご覧になれない方には紙ベースで印刷し、近く送付できるよう**準備をしている。個々の要望があれば連絡いただき、対応していきたい。

　　３）HPの利用方法と改善活動

　　　　・現在、トップページ左上の｢三本の線｣をクリックするとメニューが開き、各ページを見ることができる。

・使い勝手の改善をすすめ、内容の充実を図っていく。

　　　　・(お願い)活動について投稿を歓迎するので、直居常任幹事まで連絡してください。

（２）**会員名簿のWeb化**

　　　　平成28年度に冊子を発行し、以降は**紙ベースでは発行しない**ことに決定している。

　　　HP上で見ることができるよう準備を進めている。予定より作業が遅れているが、個人情報保護の観点から**パスワード**を用い、アクセスできるようにする。

　　　　担当の金井常任幹事から会員各自のメールアドレス宛に、①｢現状の各自の住所等のデータ｣確認、②｢その住所、勤務先の情報の非開示の希望｣を通知しているので、回答ご協力をお願いしたい。

２．**「5年ごとグループ」の結成**促進をしていく(継続)。

　　　球朋会活動は総会や全体行事等をベースとするが、近い年次間の活動を活性化することにより、全体の活動が促進されると思われる。すでに取り組んできて、現在、昭和51年～55年卒｢好球会｣まで各5年の会が形成されている。以降の年次グループの結成を執行部として働き掛けていく。鈴木副会長を責任者とする。

Ⅲ．承認事項について回答ご依頼および期日等

　１．次の事項ごとに賛否ご連絡ください。ご報告がない場合はご承認いただいたと見なします。

　　（１）H29年度収支決算報告・・・承認・否認・保留　意見（　　　　）

　　（２）海外在住者の会費免除制度の廃止・・・承認・否認・保留　意見（　　　　）

（３）H30年度収支予算(案)・・・承認・否認・保留　意見（　　　　）

　　（４）H29年度活動報告・H30年度活動計画・・・承認・否認・保留　意見（　　　　）

２．ご意見の報告期日　：　　平成30年4月16日(金)

　３．ご報告先　：幹事長勝呂宛

　　　　　　　勝呂　進　　〒144-0047大田区萩中1-7-20-509　　　　電話03-3741-3115

　　　　　　　　　　メールアドレス　ssuguro@S8.wh.qit.ne.jp

　　なお、その他にもご意見がありましたら、随時、勝呂、あるいは常任幹事までご連絡ください。

以上